

令和2年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 特 選 〉



- ① 広報きんこう（12月号）
- ② 3, 800部・12回
- ③ A4判・24ページ
- ④ 錦江町 政策企画課



【特集】与論町との姉妹盟約から半世紀 後世に継ぐ開拓魂

○ 講評

〔 企画 〕

- ・ 姉妹盟約自治体の歴史や住民の苦難を紹介する特集は、読み物として興味を引き、市民の知識深化の面でも意義深い。与論町出身者のインタビューや子供たちの交流の様子も掲載され、メリハリとバランスの取れた内容。次代につなげる意図も感じられ、評価できる。
- ・ まだまだ知られざる与論開拓団を詳しく特集している。証言者にじっくり話を聞く大型特集で読み応えがあった。

〔 文章 〕

- ・ 取材や手記などを基に構成されているが、長い文章を気にすることなく一気に読ませた。
- ・ 全体的に丁寧な文章で分かりやすい。

〔 デザイン・レイアウト 〕

- ・ 写真を大胆に配するなどレイアウトも良かった。年表なども効果的に使われていた。
- ・ 2～3ページの見開き使用など、インパクトがある誌面づくりができています。見出しや写真の使い方にも変化があり、好感が持てる。



令和2年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報きりしま（2月号）
- ② 45,000部・22回
- ③ A4判・28ページ（中綴じはがき4ページ含む）
- ④ 霧島市 秘書広報課



【特集】猫と人の幸せを願って

○ 講評

〔企画〕

- ・「猫と人の幸せを願って」は巻頭に地域おこし協力隊員のマンガを持ってくるなど斬新な企画だった。
- ・特集は、猫の適正飼養を身近な課題ととらえ、足元を見返すという部分で新鮮。専門家の解説や漫画による解説で分かりやすい。エコ通勤や企業紹介などの企画も含め、全体的にバランスが良い。

〔文章〕

- ・文章も柔らかく読みやすかった。文字は多いがよくまとまっている。
- ・概ねよく書けているが、10～11ページの「人の風景」は、文末がほとんど「～ます」で締めくくられており、メリハリに欠ける印象。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・巻頭にマンガを配するなどレイアウトも大胆。その他の記事も写真を効果的に使用しており、見応えあり。
- ・見出しは全体的に字体や大きさ、縦、横などバランスよく配置されている。ただ、成人式特集で集合写真を極端に小さくしているのは良くない。

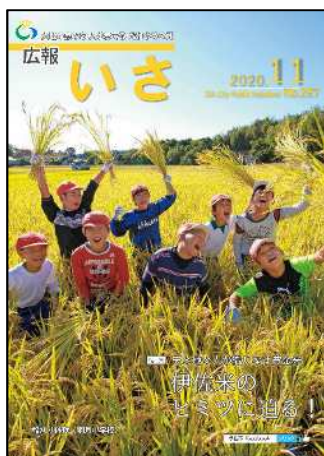


令和２年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報いさ（１１月号）
- ② １２，５００部・
２４回（１日号１２回、お知らせ版１２回）
- ③ Ａ４判・２６ページ
- ④ 伊佐市 伊佐ＰＲ課



【特集】天と地と人が織りなす黄金米
伊佐米のヒミツに迫る！

○ 講評

〔企画〕

- ・ 特集は、伊佐米の歴史、生産地の自然環境、生産者の声など、バランスが取れた内容。地域産業の活性化につなげたいとの意図も伝わる。児童虐待問題を取り上げた健康のコーナーなど、多面的な視野での誌面づくりも評価できる。
- ・ 伊佐米の秘密に迫る特集。あらためて伊佐米の歴史や魅力が分かる内容で良かった。

〔文章〕

- ・ 特集にとどまらず連載も盛りだくさん。ボリュームもほどよく読みやすかった。
- ・ 全般に読みやすく、よく書けている。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・ フロントページも特集にあわせたもの。子どもたちが笑顔満面でページを開いてみようという気にさせる。
- ・ 見出しの大きさや字体に変化を持たせ、写真のメリハリもある。バランスが取れている。



令和2年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 市報しぶし（6月号）
- ② 13,300部・12回
- ③ A4判・32～36ページ
- ④ 志布志市 企画政策課



【特集】環境月間

○ 講評

〔企画〕

- ・ リサイクル率14年連続日本一の市にふさわしいレジ袋有料化特集。先駆的取り組みも紹介している。
- ・ 市民の環境意識向上に向けた特集の意図は理解できるが、必要性を説くための前文がほしい。環境月間についての解説も小さく、目立たない。「LINE」アカウントやレジ袋削減など、身近なところからリサイクルや不法投棄といった志布志市の現状、課題を網羅し分かりやすく解説している点は評価できる。新たな生活様式すごろくも面白い。

〔文章〕

- ・ 特集をトピックごとに分け、過不足なくまとめられていて読みやすかった。
- ・ 特集やその他の企画を含め、全体的によく書けている。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・ 特別付録「新しい生活様式すごろく」は面白い取り組み。広報紙の周知アップにも一役買ったのでは。
- ・ 写真に大小のメリハリが弱い。5ページの見出しは「機能」のワードがダブっている。「ごみ分別アシスタント」で切った方がすっきりする。

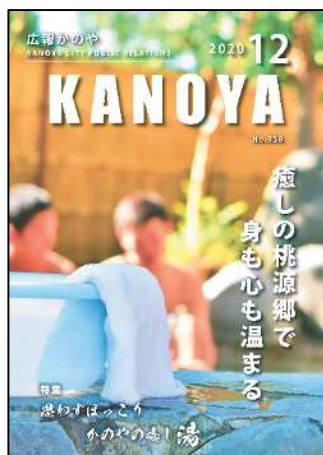


令和2年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報かのや（12月号）
- ② 42,600部・24回（うちお知らせ版12回）
- ③ A4判・28ページ
- ④ 鹿屋市 政策推進課



【特集】思わずほっこり かのやの癒し湯

○ 講評

〔企画〕

- ・ 入浴施設特集は文字通りほっこりした。秘湯特集も目を引く企画だった。
- ・ 新型コロナで遠出ができない中、地元の温泉にスポットを当てて良さを紹介する企画意図は、タイミングが良く、地域活性化の側面からも効果的だと思う。ただ、施設紹介は良くも悪くも、ガイドブック的で、どこかで見たような印象。「スポットライト」や「おしごとの時間」など、他の企画も含めた全体的な誌面構成は市民目線が感じられた。

〔文章〕

- ・ 見出しや小見出しは記事の内容を分かりやすく紹介している。文章も全体的に読みやすい。
- ・ やや固い印象。もう少し遊び心のある文体でもよかった。

〔デザイン・レイアウト〕

- ・ 写真や見出し、文章の配置などバランスの良さを感じる。ページごとに写真の大きさや配置に変化があり、良い。
- ・ 特集は情報コーナーでもあり、それに相応しいスッキリと見やすいレイアウトになっていた。

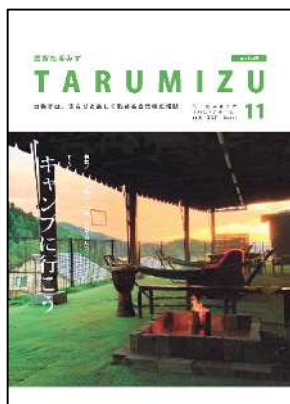


令和2年度 鹿児島県広報コンクール

① 広報紙 ② 発行部数・年間発行回数 ③ 判型・平均ページ数 ④ 担当課

■ 広報紙部門

〈 入 選 〉



- ① 広報 たるみず（11月号）
- ② 7,500部・12回
- ③ A B判・44ページ（11月号は48ページ）
- ④ 垂水市 企画政策課



【特集】コロナ禍＋秋は何で楽しむ？
そうだ、キャンプに行こう

○ 講評

〔 企画 〕

- ・ コロナ禍の「秋キャンプ」特集はいい取り上げ。もう少しボリュームがあってもいい。
- ・ キャンプ特集はコロナ禍にマッチしており、楽しみながら読める。地元の施設や具体的な楽しみ方も紹介されており、親切で好感が持てる。20ページからの「NEXMO」のコーナーも、コロナと栄養管理を関連付け、役立つ情報として評価できる。

〔 文章 〕

- ・ 文章は適度な分量。書きぶりも易しく分かりやすい。
- ・ 全体的に読みやすいが、5ページのZOOMオンライン利用者の氏名表記や23ページの3段目「食選力を学ぶ」の文末など、細かい部分の粗が気になる。

〔 デザイン・レイアウト 〕

- ・ 写真の大小で変化を持たせたり、グラフを使用したりするなど工夫しており、読みやすい。バランスの良さを感じる。
- ・ コロナで密な印象を避けたかったのかもしれないが、フロントページはやや寂しい。

